

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成30年11月22日(2018.11.22)

【公開番号】特開2017-70806(P2017-70806A)

【公開日】平成29年4月13日(2017.4.13)

【年通号数】公開・登録公報2017-015

【出願番号】特願2016-248703(P2016-248703)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F	7/02	3 3 4
A 6 3 F	7/02	3 0 4 D
A 6 3 F	7/02	3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成30年10月11日(2018.10.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

予め定められた制御条件の成立に基づいて遊技者に有利な特別遊技状態に制御される遊技機において、  
所定の待機位置から所定の動作位置へ駆動可能であると共に、前記動作位置から前記待機位置へ復帰可能な演出可動体と、

当該遊技機に対する異常内容を判定する異常状態判定手段と、

所定の開始条件の成立から所定の終了条件の成立まで前記演出可動体が前記動作位置にある状態に維持する駆動維持演出を実行可能な駆動維持演出実行手段と、

前記駆動維持演出の実行中であって、前記異常判定手段により判定された異常内容に応じて前記動作位置にある前記演出可動体を前記待機位置へ復帰させて前記駆動維持演出を中止する駆動維持演出中止手段と、

前記異常状態判定手段により異常状態であると判定された場合に、当該異常状態判定手段が判定した異常内容に応じた報知を行う異常状態報知手段と、

前記駆動維持演出が中止された場合であっても、特定の異常内容である場合には、所定時間の経過に基づいて、前記異常状態報知手段による異常状態の報知を終了させると共に、前記駆動維持演出を再開することが可能な駆動維持演出再開手段と、を備えていることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

本発明の遊技機は、

予め定められた制御条件の成立に基づいて遊技者に有利な特別遊技状態に制御される遊技機において、  
所定の待機位置から所定の動作位置へ駆動可能であると共に、前記動作位置から前記待

機位置へ復帰可能な演出可動体と、

当該遊技機に対する異常内容を判定する異常状態判定手段と、

所定の開始条件の成立から所定の終了条件の成立まで前記演出可動体が前記動作位置にある状態に維持する駆動維持演出を実行可能な駆動維持演出実行手段と、

前記駆動維持演出の実行中であって、前記異常判定手段により判定された異常内容に応じて前記動作位置にある前記演出可動体を前記待機位置へ復帰させて前記駆動維持演出を中止する駆動維持演出中止手段と、

前記異常状態判定手段により異常状態であると判定された場合に、当該異常状態判定手段が判定した異常内容に応じた報知を行う異常状態報知手段と、

前記駆動維持演出が中止された場合であっても、特定の異常内容である場合には、所定時間の経過に基づいて、前記異常状態報知手段による異常状態の報知を終了させると共に、前記駆動維持演出を再開することが可能な駆動維持演出再開手段と、を備えていることを特徴とする遊技機である。